

平成30年度事業評価 分野別評価シート

【まちづくり・環境】

- [1 住環境]
- [2 環境保護]
- [3 災害対策]
- [4 防犯・安全対策]

このシートでは、基本構想の「まちづくり・環境」について、各分野の中間アウトカムの達成に向け、各計画事業の所管課による「課別評価」の結果を集約し、中間アウトカム全体を俯瞰した組織横断的な視点からの評価を行います。

1 住環境に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	4-1 住環境
将来像	だれもが住み続けたい・住みたくなる快適で魅力的なまち

このシートでは、住環境分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 地域の特性やニーズを取り入れたまちづくりが進められている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
地区まちづくりの推進	地域整備課	地域の特性を生かした、住民主体のまちづくりが進められている	現状維持
再開発事業の推進	地域整備課	地域の特性を生かした、公共性の高い市街地整備が進められている	現状維持
景観まちづくりの推進	住環境課	区民や事業者が景観に配慮し、良好な景観が形成されている	改善・見直し
公園再整備事業	みどり公園課	地域のニーズを取り入れた、快適な公園等が整備されている	拡充

課別評価 のコメント	景観まちづくりの推進	【改善・見直し】
	坂や緑、歴史など、地域の魅力を活かす景観づくりを「文京区景観計画」に基づき進めています。区民や事業者が地域の特性を理解していただくよう、より丁寧な説明に努めるとともに、景観に対する意識の向上を図る取組として、景観啓発活動を引き続きおこなってまいります。	
課別評価 のコメント	公園再整備事業	【拡充】
	「文京区公園再整備基本計画」では”概ね1年間に2園程度を整備”を目標としていますが、地域の状況やニーズを鑑み、今後、改修する園数を増やしていきます。	

分野別分科会における評価

中間アウトカム (A) 「地域の特性やニーズを取り入れたまちづくりが進められている」の達成に向けて、地区まちづくり、再開発事業については今後も継続していきます。また、景観まちづくりについては、良好な景観形成協議物件数の増加を図るため、区民及び事業者により良い景観づくりに協力していただけるよう、より丁寧な説明に努めていきます。さらに、公園再整備事業は改修する園数を増やし、計画的な公園等の再整備を行います。

中間アウトカム (B)		区民が憩いとゆとりを実感できるまちづくりが進められている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
景観まちづくりの推進	住環境課	良好な景観が形成されている	改善・見直し
公園再整備事業	みどり公園課	地域のニーズに合った、快適な公園等が整備されている	拡充
肥後細川庭園からはじめる緑と歴史のまちづくり	みどり公園課	目白台・関口地域で、道路環境や観光施設との連携による一体感あるまちづくりが進められている	拡充
教育の森公園施設改修工事	みどり公園課	憩いとゆとりが実感できる公園が整備されている	終了確定
区道870号無電柱化事業	道路課	良好な景観が形成されている	現状維持



課別評価 のコメント	景観まちづくりの推進	【改善・見直し】
	区民が憩いとゆとりを実感できるまちづくりを進めるため、「文京区景観法に基づく届出景観事前協議パンフレット」等を用いて景観に配慮するように説明した上で、景観事前協議を行っていますが、合意に至らないことがあります。区民や事業者に対し、景観の必要性を理解していただき、協力してもらえるように、より丁寧な説明をしていきます。	
課別評価 のコメント	公園再整備事業	【拡充】
	「文京区公園再整備基本計画」では”概ね1年間に2園程度を整備”を目標としていますが、憩いとゆとりを実感できるまちづくりを更に推進するため、今後、改修する園数を増やしていきます。	
課別評価 のコメント	肥後細川庭園からはじめる緑と歴史のまちづくり	【拡充】
	まちづくり事業の観光拠点施設として、近隣観光施設や地域住民と連携した事業を推進していきます。	
課別評価 のコメント	教育の森公園施設改修工事	【終了確定】
	平成29年度の目標であった自由広場の改修及び主要園路の一部改修等の目標を達成しました。引き続き、じゃぶじゃぶ池等の改修を行っており、平成30年度工事終了の予定です。	



分野別分科会における評価
<p>中間アウトカム (B) 「区民が憩いとゆとりを実感できるまちづくりが進められている」の達成に向けて、景観まちづくりのさらなる啓発、改修する園数を増やし計画を拡充する公園再整備事業を行います。肥後細川庭園については、近隣観光施設や地域住民と連携した事業を推進します。その他、区道870号の無電柱化事業を継続します。</p>

中間アウトカム (C)		安全・安心な生活環境が整備されている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
再開発事業の推進	地域整備課	市街地の防災性が向上し、良好な住環境が形成されている	現状維持
バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている	現状維持
バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている	現状維持
公衆・公園等トイレの整備	みどり公園課	だれもが快適に利用できる公衆・公園等トイレが整備されている	改善・見直し
マンション管理適正化支援事業	住環境課	適正なマンション管理が行われている	現状維持
公害防止指導	環境政策課	石綿の飛散が防止されている	現状維持
歩行喫煙等の防止啓発	環境政策課	喫煙マナーが向上し、地域美化が推進されている	改善・見直し
不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる	現状維持
区道870号無電柱化事業	道路課	歩行空間の安全性・快適性が向上している	現状維持
シビックセンター改修	施設管理課	シビックセンターのユニバーサルデザインの充実が図られている	現状維持
コミュニティ道路整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持
自転車走行空間整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持

課別評価 のコメント	公衆・公園等トイレの整備	【改善・見直し】
	東京2020大会等の影響により発注環境が厳しくなっています。今後は、工事費用の動向を確認しながら計画的に発注し、平準化したスケジュールとすることにより、当初計画より事業完了時期を延伸します。	
課別評価 のコメント	歩行喫煙等の防止啓発	【改善・見直し】
	区民との協働により、歩行喫煙と吸い殻のポイ捨て防止活動等を行い、喫煙マナーの向上に努めていますが、さらなる地域美化を推進するため、キャンペーンや巡回指導等の活動や民間喫煙所の整備をより一層図っていきます。	



分野別分科会における評価
<p>中間アウトカム (C) 「安全・安心な生活環境が整備されている」の達成に向けて、社会的情勢を踏まえ公衆・公園トイレ整備事業の計画的整備、歩行喫煙等防止対策の一層の啓発を進めていきます。その他の事業については引き続き適切に進めていきます。</p>

中間アウトカム (D)		移動しやすい交通環境が整備されている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
自転車シェアリング事業実証実験	管理課	自転車シェアリングが新たな公共交通手段として定着するか可能性を検証する	拡充
バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている	現状維持
バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている	現状維持
コミュニティバス運行	区民課	交通の利便性が高まっている	改善・見直し
コミュニティ道路整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持
自転車走行空間整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持



課別評価 のコメント	自転車シェアリング事業実証実験	【拡充】
	自転車シェアリング事業が公共交通手段として定着するよう、サイクルポートの整備及び自転車の配備を進めます。また、自転車の再配置などの課題について、相互乗り入れを行っている8区と協議を進め本格実施を目指していきます。	
課別評価 のコメント	コミュニティバス運行	【改善・見直し】
	公共交通に関する区民ニーズを把握していくことが重要となります。そのため、29年度に実施したコミュニティバスB-ぐる課題分析報告書で示された課題に対する詳細分析を実施するとともに、沿線協議会等の意見を参考にしながらサービスや利便性の向上を進め、利用者数の増を図っていきます。	



分野別分科会における評価
<p>中間アウトカム (D) 「移動しやすい交通環境が整備されている」を達成するために、自転車シェアリング事業の課題を精査し本格実施を目指していきます。また、コミュニティバス運行事業については、区民ニーズの把握に努め利便性の向上を図っていきます。その他の事業については引き続き適切に進めていきます。</p>

2 環境保護に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	4-2 環境保護
将来像	環境にやさしい取組を推進するまち

このシートでは、環境保護分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 環境負荷の低減に配慮した都市整備が進んでいる

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
環境改善舗装	道路課	治水対策など、都市環境の改善が図られている	現状維持
みどりのふれあい事業	みどり公園課	まちの緑化が推進されている	改善・見直し
街路灯LED化事業	道路課	環境にやさしい照明器具が導入されている	現状維持
新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進	環境政策課	住宅等への新エネルギーや省エネルギー機器の導入が進んでいる	拡充
シビックセンター改修	施設管理課 (保全技術課、整備技術課)	シビックセンターの環境負荷の軽減が図られている	現状維持

課別評価 のコメント	みどりのふれあい事業	【改善・見直し】
	大気浄化やヒートアイランド現象などの環境負荷の低減を図るとともに、地震等の災害対策として、生垣助成などの緑化を推進していきます。	
課別評価 のコメント	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進	【拡充】
	国や都の地球温暖化対策に関する新エネルギー機器や省エネルギー機器の動向を把握するとともに、区民ニーズの変化に合わせた新規メニューを追加します。	

分野別分科会における評価

中間アウトカム (A) 「環境負荷の低減に配慮した都市整備が進んでいる」の達成に向けて、今後は屋上緑化、生垣造成など都市基盤の整備や緑化事業の見直し、新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進について事業を拡充していきます。その他の事業については引き続き適切に行っていきます。

中間アウトカム (B)		各主体が環境負荷の低減について意識を高め、様々な取組を行っている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
みどりのふれあい事業	みどり公園課	まちの緑化が推進されている	改善・見直し
温室効果ガス排出抑制に向けた取組の推進	環境政策課	温室効果ガス排出抑制に関する理解が深まり、排出量が抑制されている	改善・見直し
文京ecoカレッジ	環境政策課 (リサイクル清掃課)	低炭素社会・循環型社会等に関する理解が深まり、区民の主体的な取組が行われている	改善・見直し
ごみ減量と3Rによる循環型社会の形成に向けた取組の推進	リサイクル清掃課	3Rの推進、ごみ量の抑制などに関する理解が深まり、ごみが減量している	改善・見直し
リユース(再使用)の推進	リサイクル清掃課	リユースに関する理解が深まり、ごみが減量している	改善・見直し
新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進	環境政策課	住宅等への新エネルギーや省エネルギー機器の導入が進んでいる	拡充
資源の集団回収支援	リサイクル清掃課	資源の集団回収が活発に行われ、ごみが減量している	改善・見直し
資源回収事業	リサイクル清掃課 (文京清掃事務所)	資源が有効利用され、ごみが減量している	改善・見直し
事業系ごみ対策	リサイクル清掃課	事業系ごみの減量と適正処理が促進されている	改善・見直し

課別評価 のコメント	みどりのふれあい事業	【改善・見直し】
	大気浄化やヒートアイランド現象などの環境負荷の低減を図るとともに、地震等における災害対策として、生垣助成などの緑化を推進していきます。	
課別評価 のコメント	温室効果ガス排出抑制に向けた取組の推進	【改善・見直し】
	「文京区地球温暖化対策地域推進計画」で設定した二酸化炭素排出量の削減目標に達しておらず、これまで以上に区民・団体・事業者・区が削減に向け、取り組む必要があります。今後とも、アクションプランに基づいた行動を実践するとともに、次期「文京区地球温暖化対策地域推進計画」において、新たな方針や具体的施策を検討します。	
課別評価 のコメント	文京ecoカレッジ	【改善・見直し】
	近年、受講者の年齢層の偏りや一部固定化等が進んでいるため、今後は環境ライフサポーターやリサイクル推進サポーターとして、若い世代や新規受講者を取り込みつつ、地域に根差した環境保全活動・リサイクル推進活動を行う人材を育成していきます。	
課別評価 のコメント	ごみ減量と3Rによる循環型社会の形成に向けた取組の推進	【改善・見直し】
	3Rの推進については、文京ecoカレッジ等を通じて普及・啓発活動を行っていますが、区内リサイクル率は横ばい状態が続いています。また、ごみの排出量については減少傾向にありますが、現行の一般廃棄物処理基本計画(モノ・プラン文京)で設定した目標値には達していない状況です。次期、一般廃棄物処理基本計画改定において、新たな基本方針や具体的施策を盛り込むことにより、これらの課題解決を目指します。	
課別評価 のコメント	リユース(再使用)の推進	【改善・見直し】
	排出されるごみの中には、資源として再使用できるものや、未利用食品などが数多く見受けられます。現在、各種事業の中で、リユースに関する理解が深まるよう工夫を凝らして啓発活動を行っていますが、引き続き、より具体的なリユースの方法を周知していきます。また、未利用食品については、新たな回収方法等を検討していきます。	
課別評価 のコメント	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進	【拡充】
	国や都の地球温暖化対策に関する新エネルギー機器や省エネルギー機器の動向を把握するとともに、区民ニーズの変化に合わせた新規メニューを追加します。	
課別評価 のコメント	資源の集団回収支援	【改善・見直し】
	地域の方々グループをつくって資源の集団回収事業をおこなっており、資源の36%を占めています。区民の方々に集団回収の始め方やメリット等を記載したチラシを配布していますが、新規登録グループは少ないのが現状です。さらに、既存グループにおいても、その活動が低下している場合があります。活発な活動を続けていただくためにも、グループ役員や町会関係者等と連携を取りながら、有効な支援方法を検討していきます。	

[2 環境保護]

課別評価 のコメント	資源回収事業	【改善・見直し】
	缶、びん、食品トレー、衣類及びインクカートリッジ等については、従来からの周知啓発の成果もあり、資源回収事業が根付いています。ただし、段ボールについては、宅配便の活用が増えて増加傾向にあり、資源としての周知がさらに必要です。今後も、引き続き資源回収の周知を徹底していきます。	
課別評価 のコメント	事業系ごみ対策	【改善・見直し】
	事業用延べ床面積が1,000㎡を超える建築物に関して、立入検査を行い、排出者責任の意義を説明するとともに、ごみ減量リサイクル・適正処理等を指導しています。しかしながら、事業系ごみの排出量は横ばい状態にあり減量につながっていないため、今後は、廃棄物責任者講習会の内容の改善や対象人員の拡大等を検討していきます。	



分野別分科会における評価	
<p>中間アウトカム（B）「各主体が環境負荷の低減について意識を高め、様々な取組を行っている」の達成に向けて、文京ecoカレッジにより、若い世代等を取り込んだ環境に関する人材育成を行っていきます。環境負荷の低減に関する取組については、生垣助成などの緑化推進や新たな温室効果ガス排出抑制、さらに、新たな方針に基づくごみの減量と3R、未利用食品の回収方法の改善などによるリユースの徹底、その他資源回収事業、事業系ごみ対策等の改善・見直しなどにより、一層の推進を図っていきます。加えて、資源の集団回収事業におけるグループ活動の支援に関する改善・見直しや、新エネルギー・省エネルギー機器の導入における新規メニューの拡充もあわせて行っていきます。</p>	

3 災害対策に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	4-3 災害対策
将来像	備えと助け合いのある災害に強いまち

このシートでは、災害対策分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 区民が日頃から災害に備え、自ら適切な対策を講じている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
地域防災訓練等	防災課	地域で防災訓練が活発に行われ、多くの区民等が参加している	改善・見直し
耐震改修促進事業	地域整備課	建物の耐震化が進んでいる	改善・見直し
区民防災組織の育成	防災課	区民主体の防災訓練等が活発に行われている	改善・見直し
避難所運営協議会運営支援	防災課	区民の避難所運営に関する能力が向上している	改善・見直し
中高層共同住宅の支援	防災課	災害発生時における中高層共同住宅の防災行動力が確保されている	改善・見直し
不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる	現状維持

課別評価 のコメント	地域防災訓練等	【改善・見直し】
	区で行う総合防災訓練においては、若い世代の参加が少ない傾向にあります。今後は町会・自治会への呼び掛けを更に強めるとともに、学校及びPTAと連携を図り、児童、生徒及び保護者の参加を促していきます。	
課別評価 のコメント	耐震改修促進事業	【改善・見直し】
	新耐震基準施行から37年経過し、耐震性の低い木造住宅の老朽化が進んでいます。これらは、耐震改修工事を行っても、工事費が新築並みに高額になる傾向がある上、古い構造体が残るため耐用年数が少ないなど、所有者の負担は大きい割に効果は限定的です。今後は、耐震性が低い老朽木造住宅の建替えを推進するために、事業の拡充を含めて検討し、耐震化率の向上を図ります。	
課別評価 のコメント	区民防災組織の育成	【改善・見直し】
	備蓄品購入費助成については実施2年目ですが、まだ町会、マンション等に十分に浸透していません。そのため、区民防災組織活動助成金申請の際には備蓄品購入についても紹介し、活用を促します。さらに、区報やHP、地域で行う地域防災訓練等の様々な機会を捉えて、効果的な周知を行います。	
課別評価 のコメント	避難所運営協議会運営支援	【改善・見直し】
	避難所33か所中、協議会主催の避難所運営訓練は1年間で3分の1程度の実施にとどまっています。毎年度全ての避難所が訓練を実施することが望ましいため、訓練未実施の協議会には助成金の周知及び区で行う総合防災訓練等の見学を通し、意識の高揚を図り、訓練の実施につなげていきます。	
課別評価 のコメント	中高層共同住宅の支援	【改善・見直し】
	エレベーター閉じ込め対策経費については、20件が目標件数ですが、10件にとどまっています。今後は、防災対策費用申請の際に併せて紹介することや、大阪北部地震の事例を示すなどして、引き続き、区報、HP、地域で行う地域防災訓練等の様々な機会を周知を図り、申請件数の増加につなげていきます。	

分野別分科会における評価

これらの事業の対象組織である町会、マンションなどに対して、区報や区の事業の場において、より一層の制度の周知を行い、中間アウトカム(A)「区民が日頃から災害に備え、自ら適切な対策を講じている」の達成を図ります。特に、若い世代が多く参加することが重要であるため、総合防災訓練については、今後、学校及びPTAとの連携をより一層強化して実行します。また、耐震改修促進事業については、助成事業の周知及び事業拡充を検討することで、区民が耐震化について考える機会を増やします。不燃化特区事業の推進については、引き続き適切に進めていきます。

中間アウトカム (B)		災害に強い都市整備が進んでいる	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
無料公衆無線LANの整備	情報政策課 (防災課)	国内外からの観光客等が、インターネットを利用して災害時の情報を容易に取得することができる	現状維持
地区まちづくりの推進	地域整備課	市街地の防災性が向上している	現状維持
再開発事業の推進	地域整備課	市街地の防災性が向上している	現状維持
環境改善舗装	道路課	治水対策など、都市環境の改善が図られている	現状維持
耐震改修促進事業	地域整備課	建物の耐震化が進んでいる	改善・見直し
熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	防災課	熊本地震を踏まえ、区の災害対策の充実・強化が図られている	終了確定
不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる	現状維持
細街路の整備	地域整備課	災害時の活動に配慮した道路拡幅整備が進んでいる	現状維持
区道870号無電柱化事業	道路課	災害時における緊急輸送道路の通行障害が防がれている	現状維持
シビックセンター改修	施設管理課 (保全技術課、整備技術課)	シビックセンターの防災拠点としての機能が向上している	現状維持
文京区空家等対策事業	住環境課 (建築指導課)	管理不全な空家が減っている	改善・見直し
橋梁アセットマネジメント整備	道路課	橋梁の適切な予防保全が図られている	現状維持



課別評価 のコメント	耐震改修促進事業	【改善・見直し】
	新耐震基準施行から37年経過し、耐震性の低い木造住宅の老朽化が進んでいます。これらは、耐震改修工事を行っても、工事費が新築並みに高額になる傾向がある上、古い構造体が残るため耐用年数が少ないなど、所有者の負担は大きい割に効果は限定的です。今後は、耐震性が低い老朽木造住宅の建替を推進するため、事業の拡充を含めて検討し、耐震化率の向上を図ります。	
課別評価 のコメント	熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	【終了確定】
	8つの課題について、ワーキンググループ形式で検討を重ね、トラック協会と連携した物資の輸送体制構築や健康管理班による避難所巡回体制構築など、平成30年3月に最終報告書として取りまとめました。解決に至らなかった課題については、引き続き検討を行い、地域防災計画や職員防災行動マニュアルの修正に反映させていきます。	
課別評価 のコメント	文京区空家等対策事業	【改善・見直し】
	現状では、除却による管理不全な空家の解消を図っていますが、今後は、「文京区空家等対策計画」を区民に周知し、所有者等による適切な維持管理を促進していきます。	



分野別分科会における評価
中間アウトカム (B) 「災害に強い都市整備が進んでいる」の達成に向けて、耐震改修事業の拡充の検討や、空家等対策計画の周知、職員防災行動マニュアルの修正などを行います。その他の事業については引き続き適切に進めていきます。

中間アウトカム (C)		各主体の協力体制が構築されている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
地域防災訓練等	防災課	消防・警察・ライフライン等、関係機関との協力体制が強化されている	現状維持
区民防災組織の育成	防災課	区民防災組織等と中高層マンション管理組合の連携が図られている	現状維持
避難所運営協議会運営支援	防災課	各主体の協力体制により避難所が運営されている	現状維持
福祉避難所の整備・拡充及び妊産婦・乳児救護所の充実	防災課 (福祉政策課)	福祉避難所等について、要配慮者が円滑に利用できるよう、民間施設の特性を生かした運営体制の整備がされている	改善・見直し
熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	防災課	熊本地震を踏まえ、区の災害対策の充実・強化が図られている	終了確定
避難行動要支援者の支援	防災課	関係団体との連携により、避難行動要支援者に対する適切な支援体制が整備されている	改善・見直し
災害協定の拡充	防災課	自治体や公的団体、事業者等との実効性のある協力体制が整っている	拡充
災害ボランティア体制の整備	福祉政策課	発災時に、適切に機能する災害ボランティア体制が構築されている	現状維持
災害時医療の確保	生活衛生課	発災時に適切に機能する災害医療救護体制が整備されている	現状維持

課別評価 のコメント	福祉避難所の整備・拡充及び妊産婦・乳児救護所の充実	【改善・見直し】
	福祉避難所の拡充に向けて区内福祉施設との交渉・調整を行っていくとともに、物資・機材等の整備を進めます。併せて妊産婦・乳児救護所の備蓄物資についても充実を図っていきます。	
課別評価 のコメント	熊本地震を踏まえた災害対策の充実・強化	【終了確定】
	8つの課題について、ワーキンググループ形式で検討を重ね、トラック協会と連携した物資の輸送体制構築や健康管理班による避難所巡回体制構築など、平成30年3月に最終報告書として取りまとめました。解決に至らなかった課題については、引き続き検討を行い、地域防災計画や職員防災行動マニュアルの修正に反映させていきます。	
課別評価 のコメント	避難行動要支援者の支援	【改善・見直し】
	名簿の作成に伴い、外部提供の同意率の向上や個別計画の災害時の円滑活用へ向け、引き続き、制度周知を図る必要があります。	
課別評価 のコメント	災害協定の拡充	【拡充】
	協定を締結している自治体等とは名簿の交換や防災フェスタへの出展などを通じて、顔の見える関係づくりに取り組んでいきます。また、事業者等とは協定締結の拡充に向けて交渉・調整を行っていきます。	

分野別分科会における評価

中間アウトカム (C) 「各主体の協力体制が構築されている」の達成について、すでに各主体との協力体制が構築されている事業もあります。そのような事業については、今後とも継続していきます。今後の課題としては、「福祉避難所の拡充を行うとともに妊産婦・乳児救護所を含めて備蓄物資の充実等を行うこと」、「避難行動要支援者名簿の制度周知を行うこと」、「災害協定先の拡充を行うこと」の3点に力を入れ、関係各課と密接な連絡を取り合いながら進めます。

4 防犯・安全対策に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	4-4 防犯・安全対策
将来像	みんなで作る、犯罪や事故の一番少ないまち

このシートでは、防犯・安全対策分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 区民の防犯や事故防止に対する意識が高まり、主体的な対策を講じている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
子ども110番ステッカー事業	児童青少年課	子どもたちに対する犯罪が抑止されている	改善・見直し
安全対策推進	危機管理課	地域の安全対策が地域ぐるみで推進されている	改善・見直し
交通安全普及広報活動	管理課	区民の交通安全意識が高まり、交通マナーが向上している	拡充

課別評価 のコメント	子ども110番ステッカー事業	【改善・見直し】
	事業目的を達成するためには、地域ぐるみで青少年を温かく見守る取組が重要となります。子ども110番ステッカー事業については、高齢や転居等による協力件数の減少傾向があり、子どもたちが駆け込みやすい事業所等を中心に新規協力を依頼することにより、協力件数の増加を図ります。	
課別評価 のコメント	安全対策推進	【改善・見直し】
	事業目的を達成するためには、町会等の地域団体が自主的な安全・安心まちづくり活動に取り組むことが重要です。区では、条例で安全・安心まちづくり推進地区の指定制度を定めており、推進地区に対する補助金も設けていますが、推進地区の指定申請に至らない地域団体も見受けられます。今後は、推進地区に対する活動支援の制度等を一層広くPRするとともに、警察署等とも連携しながら、地域団体が自主的な防犯活動に取り組むための協力をを行い、推進地区指定申請を促進していきます。	
課別評価 のコメント	交通安全普及広報活動	【拡充】
	各警察・交通安全協会等関係機関の積極的な交通安全に係る周知活動及び警察の取り締まり強化などにより、交通事故死傷者数は減少していますが、自転車に関与する交通事故件数の割合は高く、自転車利用者に対し、更なるルールの周知・マナーの向上を図る必要があります。	

分野別分科会における評価

中間アウトカム(A)「区民の防犯や事故防止に対する意識が高まり、主体的な対策を講じている」を実現するためには、それぞれの事業について区民、地域団体及び事業所等に引き続き周知を図るとともに、協力も得ながら取り組んでいきます。同時に、区として警察署との連携をより一層強化し、地域団体の自主的な防犯活動への協力や、交通ルールの周知を行っていきます。

中間アウトカム (B)		防犯に配慮した都市環境が整備されている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
街路灯LED化事業	道路課	不点灯が少ない安全な道路環境が整備されている	現状維持
安全対策推進	危機管理課	地域の安全対策が地域ぐるみで推進されている	現状維持
文京区空家等対策事業	住環境課 (建築指導課)	管理不全な空家が減っている	改善・見直し



課別評価 のコメント	文京区空家等対策事業	【改善・見直し】
	現状では、除却による管理不全な空家の解消を図っていますが、利活用が可能な場合は、利活用による管理不全な空家の解消も行っていく必要があります。	



分野別分科会における評価
中間アウトカム (B) 「防犯に配慮した都市環境が整備されている」の達成について、街路灯LED化や、安全対策推進、除却による管理不全空家の解消を図っています。これらの事業を継続しつつ、新たな事業として、利活用による空家の解消が可能である場合、その解消方法について検討を行っていきます。

中間アウトカム (C)		安全な交通環境が整備されている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
区道870号無電柱化事業	道路課	歩行空間の安全性・快適性が向上している	現状維持
交通安全普及広報活動	管理課	区民の交通安全意識が高まり、交通マナーが向上している	拡充
総合的な自転車対策の推進	管理課	放置自転車が減少している	拡充
コミュニティ道路整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持
橋梁アセットマネジメント整備	道路課	橋梁の適切な予防保全が図られている	現状維持
自転車走行空間整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持



課別評価 のコメント	交通安全普及広報活動	【拡充】
	各警察・交通安全協会等関係機関の積極的な交通安全に係る周知活動及び警察の取り締まり強化などにより、交通事故死傷者数は減少しています。しかし、自転車が関与する交通事故件数の割合は高く、自転車利用者に対し、更なるルール周知・マナーの向上を図ることにより、安全な歩行空間の確保に努めます。	
課別評価 のコメント	総合的な自転車対策の推進	【拡充】
	駅周辺の用地確保等により、一時利用制自転車駐車場の整備を積極的に進めるとともに、放置自転車撤去回数増加や土日・祝日・夜間における撤去を強化することで、放置自転車を抑制し、快適な歩行空間の確保を図ります。	



分野別分科会における評価
中間アウトカム (C) 「安全な交通環境が整備されている」の達成については、コミュニティ道路整備や橋梁の適切な予防保全事業等を行っています。これらの事業を継続しつつ、今後は、自転車利用者に対するルールの周知や、放置自転車の抑制に力を入れていきます。